

第79回東京都スポーツ大会(旧：都民体育大会) 港区予選会(シングルス) 開催要項

主催	(一財)港区体育協会	主管	港区テニス連盟
大会役員	大会会長 佐藤 信利 ディレクター 加藤 潤 大会運営係 港区テニス連盟役員 レフェリー 野中 裕美		
日時	2026年2月22日(日) 8:00~19:00 雨天中止(小雨の場合決行)		
会場	港区芝浦中央公園運動場テニスコート(オムニコート) 港区港南1-4-1 当日の連絡先 男子シングルス 090-1452-2093(佐藤) 女子シングルス 080-3690-0619(野中) 棄権する場合は必ずご連絡ください。前日までは港区テニス連盟にメールでご連絡ください。		
種目	①男子シングルス ②女子シングルス ※試合当日に住所、勤務先・勤務地を確認できるものを持参。確認できない場合は失格となります。		
	●在住の場合 住所がわかる書類(運転免許証、健康保険証※1等)		
	●在勤の場合 ①住所がわかる書類(運転免許証、健康保険証※1等) ②会社名と住所がわかる書類(社員証+名刺、在職証明書+健康保険証※1、在職証明書+半年以上勤務がわかる書類 ※給与明細、源泉徴収票等)※在職証明書+名刺は不可 ※実際に勤務していない支社などでの在職証明書も不可 ※1 マイナ保険証 資格情報の出力または画面表示、資格確認証		
集合時間	集合時間までに受付をしなかった場合は失格となります。		
	①男子シングルス	②女子シングルス	
	No.5-6 11-12 21-22 27-28 の方は 7:50	No.3-4 5-6 11-12 13-14 の方は 12:00	
	No.7-8 9-10 23-24 25-26 の方は 8:20	No.7-8 9-10 の方は 12:30	
	No.3-4 13-14 19-20 29-30 の方は 8:50	No.1-2 11 15-16 の方は 13:00	
	No. 1-2 15-16 17-18 21-22 の方は 9:20		
	No.2 31 の方は 9:50		
試合方法	トーナメント戦1セットマッチ(6オール7ポイントタイブレークシステム)セルフジャッジ方式 ノーアドバンテージスコアリング方式(天候や進行により変更する場合があります。) 初戦敗退者によるコンソレーションを予定しています。		
	試合の進行をオーダーオブプレイにより行います。 当日の2試合目以降については進行に注意してください。 前の試合の結果が記載されてから15分以内にコートに入らないときは「失格」となります。		
入賞	1~3位の選手は東京都スポーツ大会の選手として登録(港区テニス連盟の団体に加盟が必要)		
その他	●5月17日(日)・23日(土)・24日(日)・30日(土)に開催予定の東京都スポーツ大会に港区代表として出場できる方に限る。 ●試合球は運営側がダンロップフォートイエローを用意する。 ●試合前の練習は各サイド、サービス2本とする。 ●けいれんやその他不測の事態が起きた場合は、日本テニス協会発行の「ルールブック」最新版に準じる。 ●選手は必ずテニスウェアを着用のこと(Tシャツは認めない) ●勝者は本部にあるスコアボードのスコアカードに結果と終了時間を記載。セットボールは返却すること。		
	セルフジャッジについて(ルールブックより一部抜粋) 参加者は必ず目を通しておいてください。		
	・判定とコール		
	(1)サーバーはサービスの前に、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンスする。プレーヤー同士、その時点のスコアを確認する。		
	(2)ネットより自分側のコートについて判定とコールをする。相手にははっきりと分かる声とハンドシグナルを使って速やかに行う。 ※「フォールト」「アウト」「グッド」はネットから自分側のプレーヤー・チームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。 ※「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は両プレーヤー・チームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。 ※コート外からの妨害による「レット」のコールは両プレーヤー・チームができる。		
	(3)ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立する。ペア両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。 ペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」とコールしたプレーヤーが「グッド」に訂正した場合は、 1回目に限り故意ではない妨害としてポイントレット(ポイントのやり直し)となる。 ※インだったボールを誤って「アウト」「フォールト」とコール(ミスジャッジ)したとしても「グッド」に訂正(コレクション)し返球が正しく相手コートに入った場合は、1回目は故意ではない妨害としてポイントレットにする。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウィニングショット、またはエースだった場合は、ミスジャッジをしたプレーヤー・チームの失点となる。2回目以降は故意の妨害として失点となる。		
	(4)スコアがわからなくなった時は、双方のプレーヤーが合意できるスコアまでさかのぼり、それ以降のプレーで双方が合意できるポイント不足したスコアから再開する。合意できなかったポイントは取り消される。		
	・次の場合はレフェリーまたは運営スタッフに速やかに申し出る。		
	試合中、トイレ、着替え、ヒートルールなどでコートを離れる時 相手プレーヤーの言動やコール、フットフォールト等に疑問、不服がある時 プレーヤー同士で解決できないようなトラブルが起こった時		